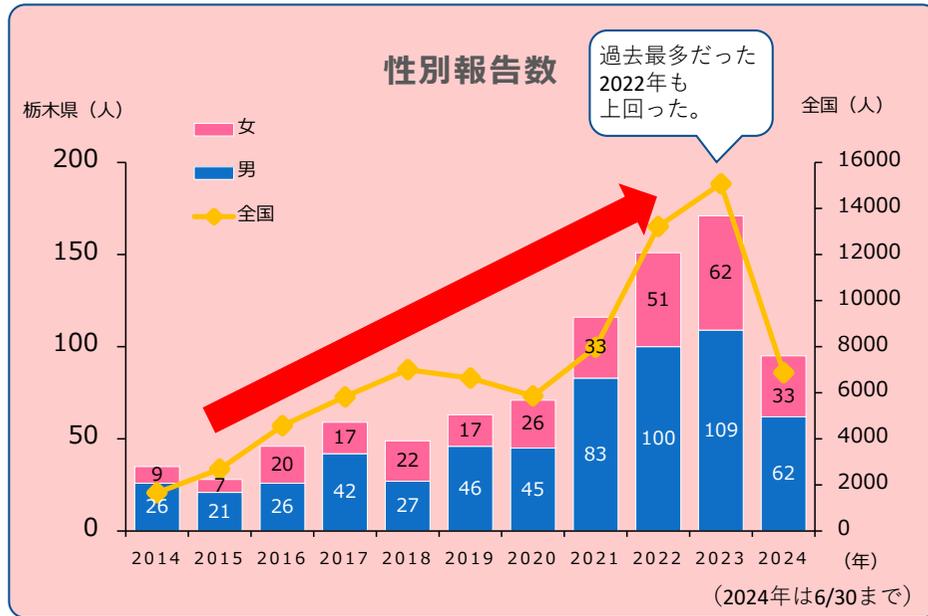


# 栃木県内 梅毒 発生状況

作成者：栃木県感染症情報センター

集計日：2024/7/9



・全国的に梅毒が増加しており、2023年は全国・本県ともに過去最多を更新しました。また、本県においては、2024年も過去最多ペースで推移し、2024年6月30日時点で95件でした（前年同期81件）。

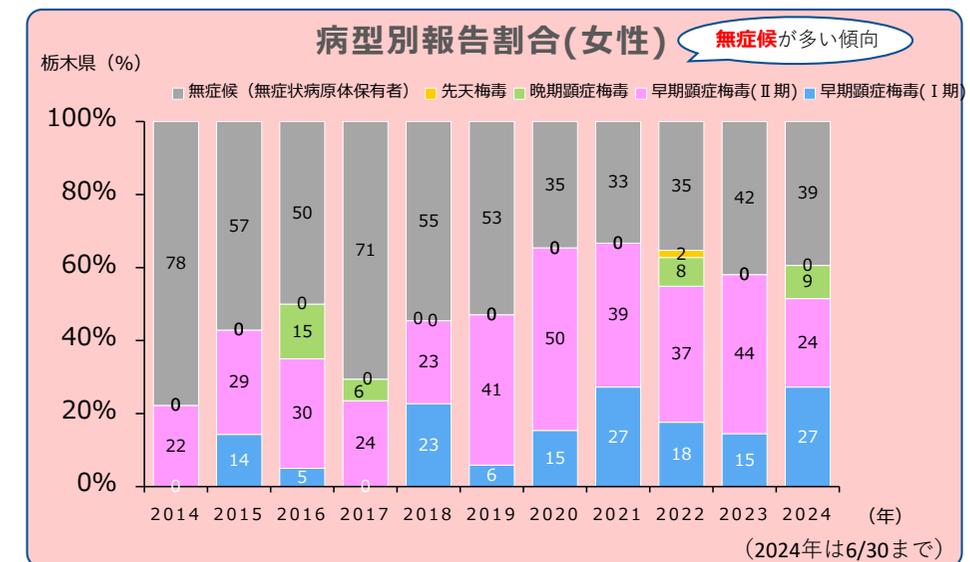
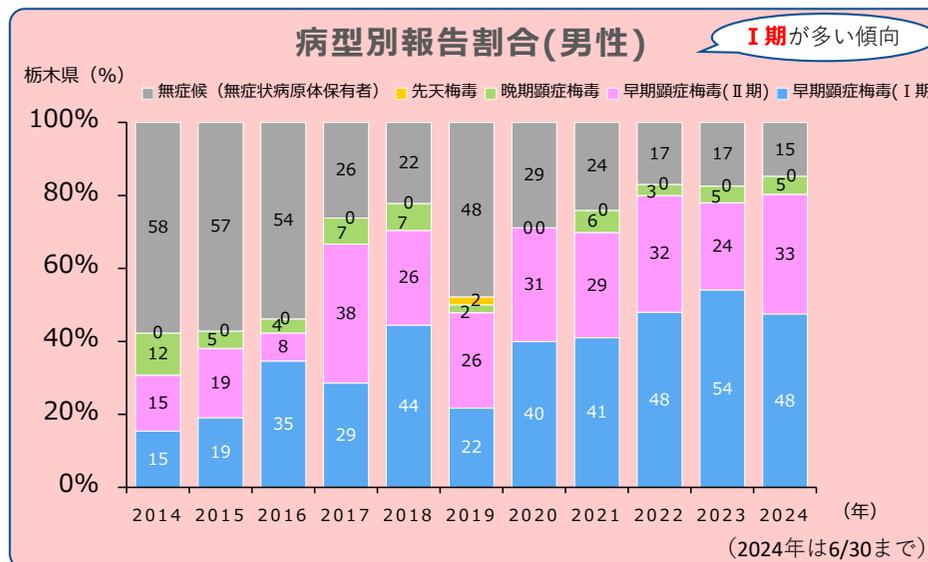
・病型別では、男性はI期の割合が多い状況です。女性は無症候の割合が最も多いですが、2024年はI期の割合が増加しています。2019年と2022年に各1例ずつ、先天梅毒の報告がありました。

・年代別では、男性は幅広い年代で満遍なく多い状況です。女性は20歳代の割合が最も多く、10歳代は少ない状況が続いていましたが、2024年は10歳代の割合が大幅に増加しています。

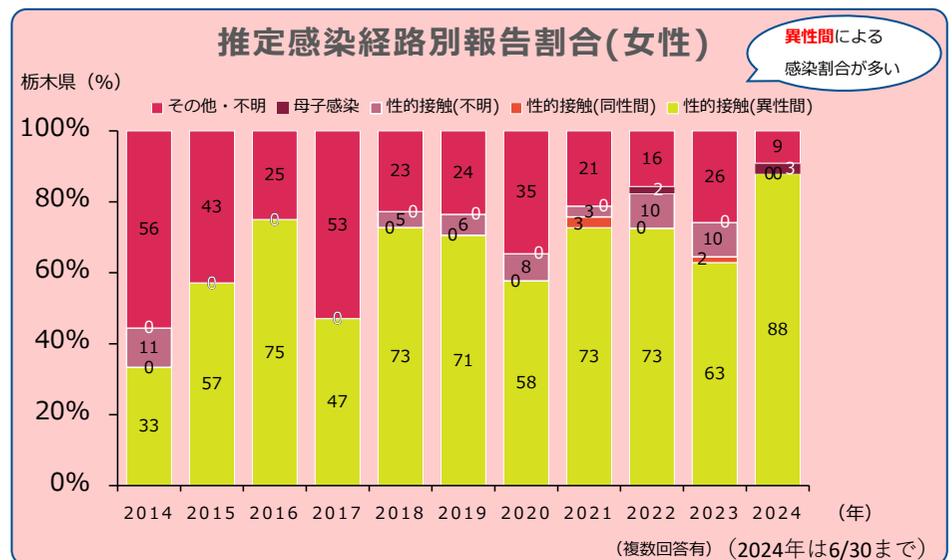
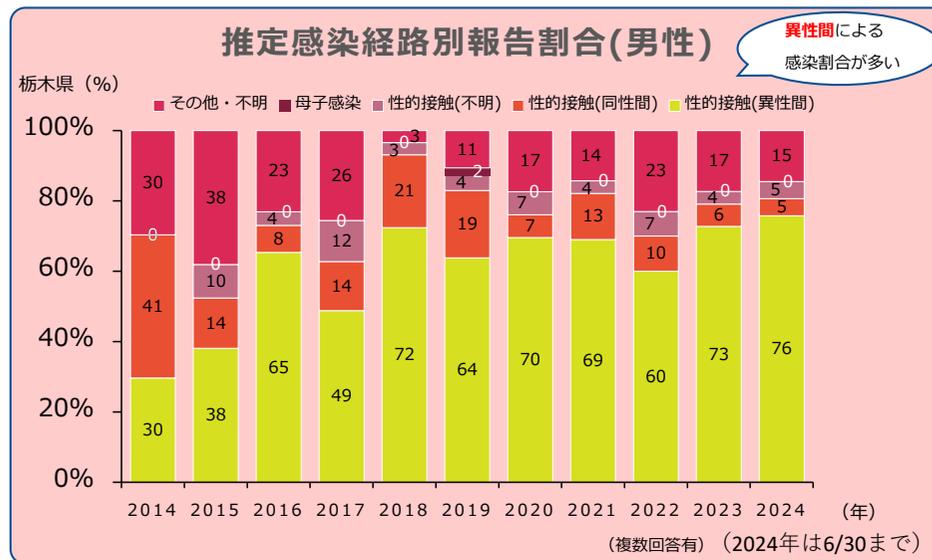
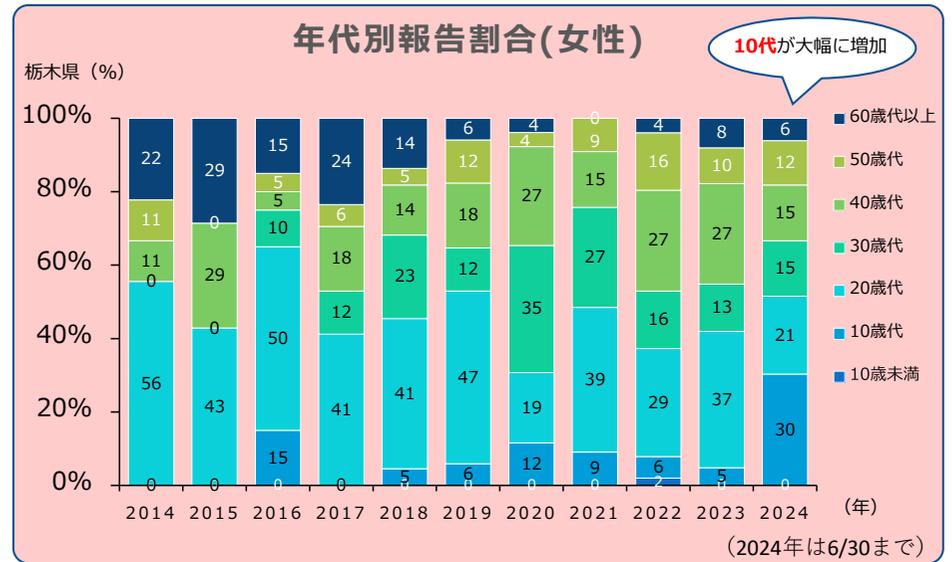
・推定感染経路は、男性、女性ともに異性間の性的接触の割合が高いです。

・推定感染地域は、約半数が栃木県内での感染です。

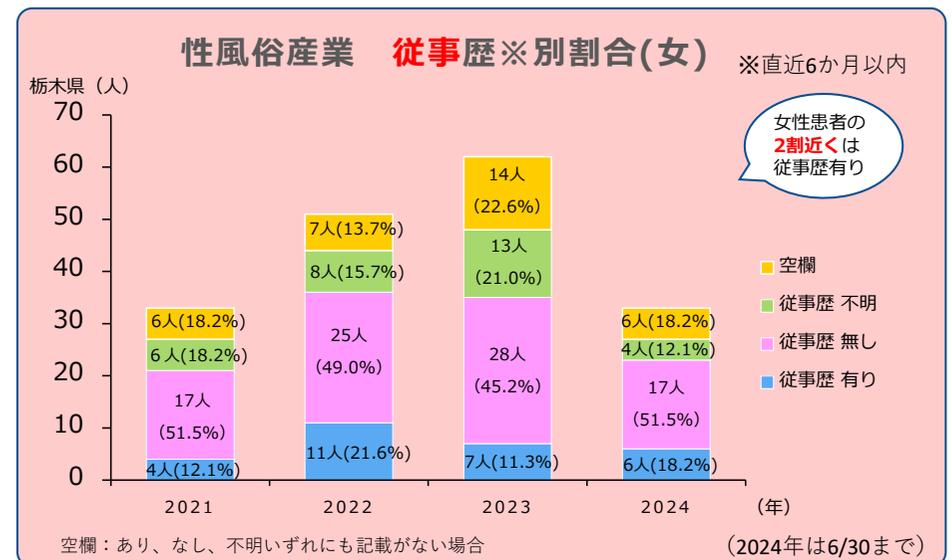
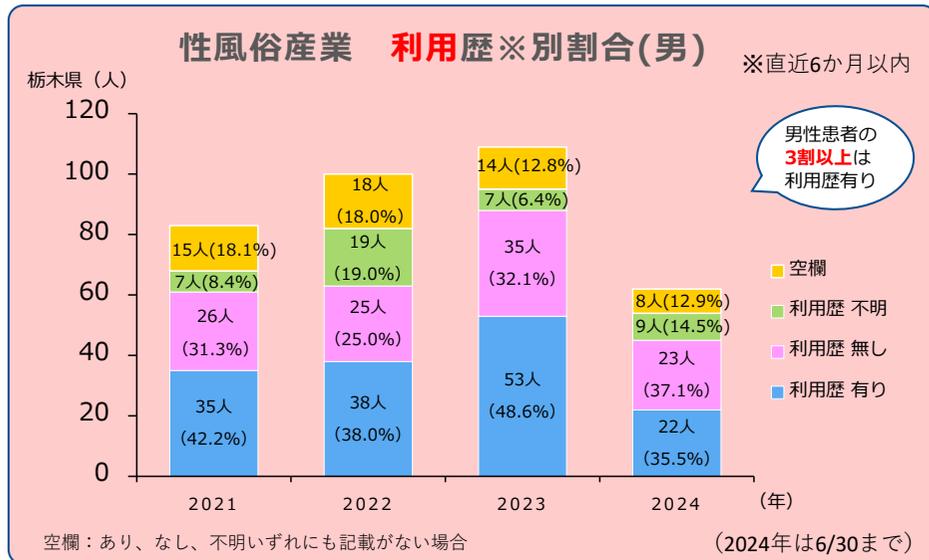
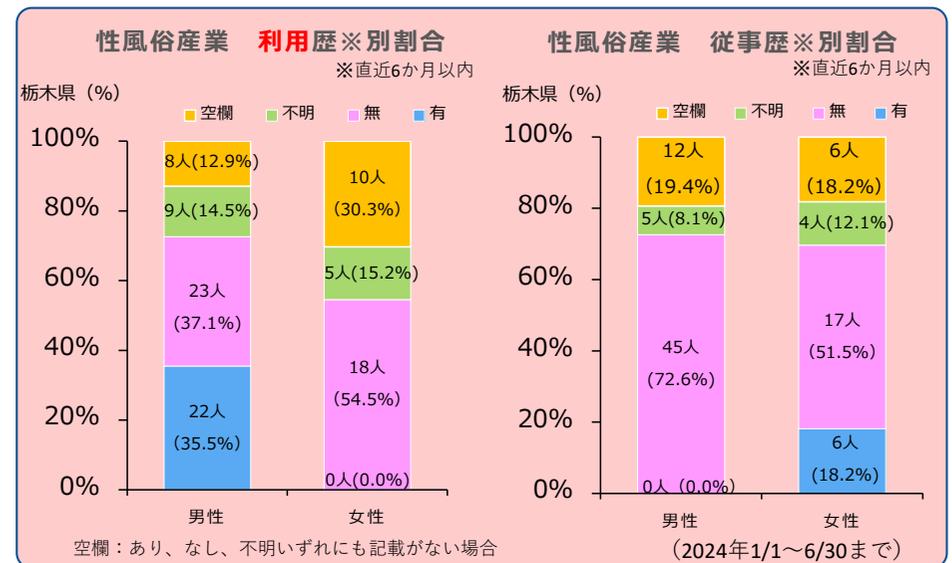
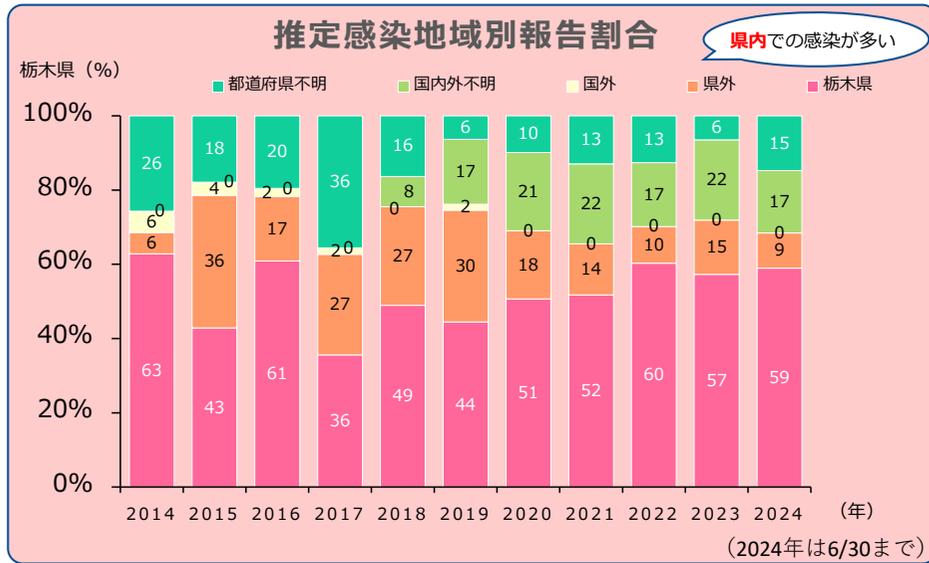
・2024年に報告のあった患者のうち、性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）が有る患者は、男性で22人（35.5%）、女性で0人でした。性風俗産業の従事歴（直近6か月以内）が有る患者は、男性で0人、女性で6人（18.2%）でした。



# 栃木県内 梅毒 発生状況

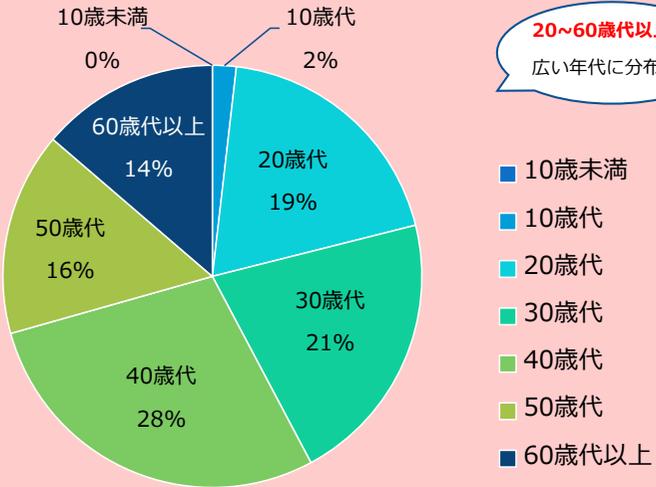


# 栃木県内 梅毒 発生状況

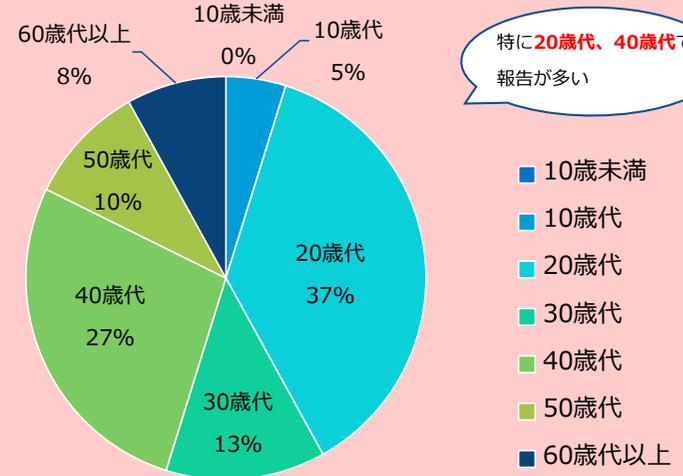


# 栃木県内 梅毒 発生状況

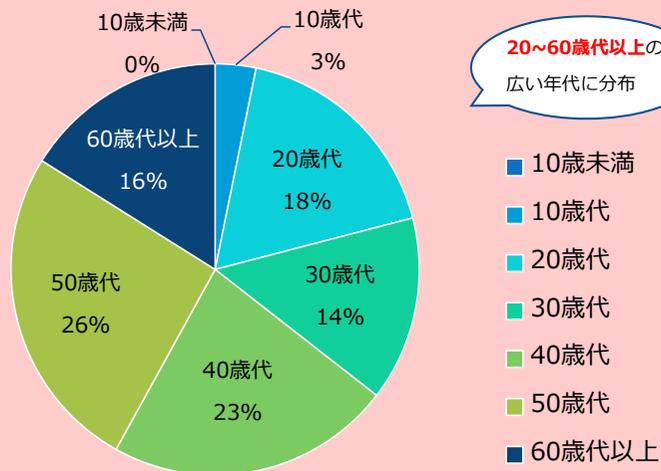
年代別報告割合(男性) (2023年)



年代別報告割合(女性) (2023年)



年代別報告割合(男性) (2024年26週まで)



年代別報告割合(女性) (2024年26週まで)

